・魚体測定結果

①春季調査

春季調査において採捕されたアユの尾数をみると、平成21年度以降、川島橋で多く採捕され、学島橋で少ない傾向であるが、本年度調査では、西条大橋と高瀬橋で、他の2地点より多かった。

採捕されたアユの体長・体重・肥満度とも、本年度確認した個体は、大きい傾向にある。

表 2.6.2.5 採捕されたアユの尾数

項目	年度	調査地点			
		学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
採捕尾数	H15	－	－	－	9
	H16	－	－	－	－
	H17	31	35	35	35
	H18	－	－	－	－
	H19	0	2	35	60
	H20	－	－	－	－
	H21	0	104	29	6
	H22	2	124	1	1
	H23	0	31	13	29
	H24	17	86	42	29
	H25	3	64	71	18
	H26	0	>101	50	37
	H27	2	>106	43	42
	H28	6	>101	53	187
	H29	1	>103	112	67
	H30	0	86	172	129
	H31	2	22	15	43
	R2	0	9	73	77

注：「－」は調査なし

表 2.6.2.6 採捕されたアユの体長

	年度	調査地点			
		学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
体長（cm）	H15	－	－	－	10.8(10.1～12.0)
	H16	－	－	－	－
	H17	8.0(7.2～9.5)	7.8(7.1～9.0)	7.9(5.0～11.1)	8.3(5.0～12.8)
	H18	－	－	－	－
	H19	－	11.4(11.2～11.5)	8.9(6.4～13.7)	9.9(7.1～14.2)
	H20	－	－	－	－
	H21	－	13.2(10.4～15.6)	8.0(6.0～10.3)	8.6(7.2～10.5)
	H22	10.8(8.8～12.8)	11.4(9.7～14.8)	8.1	7.1
	H23	－	14.6(12.3～18.7)	8.7(6.1～11.0)	7.7(6.1～13.6)
	H24	10.9(8.4～13.2)	10.6(5.9～13.7)	8.0(5.5～12.5)	7.7(6.0～9.7)
	H25	8.5(6.7～10.7)	12.8(8.6～17.0)	7.5(5.7～9.8)	6.1(5.4～7.5)
	H26	－	12.4(10.2～17.8)	6.3(4.5～8.2)	6.7(5.4～8.4)
	H27	7.9(7.0～8.8)	12.9(6.6～16.2)	7.2(5.6～9.7)	6.8(5.2～8.8)
	H28	8.3(7.7～9.3)	11.7(9.7～14.7)	7.2(5.4～10.2)	6.5(5.0～8.8)
	H29	7.0(7.0～7.0)	13.6(8.9～15.3)	8.6(5.1～12.8)	6.7(5.1～9.8)
	H30	－	12.0(8.2～16.0)	7.1(5.2～9.5)	6.6(4.7～8.0)
	H31	10.0(9.8～10.2)	11.7(7.6～14.2)	9.1(8.0～12.2)	8.6(5.9～12.0)
	R2	－	12.8(10.0～15.0)	8.7(7.3～12.2)	8.0(6.4～9.3)

注：「－」は調査なし　もしくは、採捕数が無い。

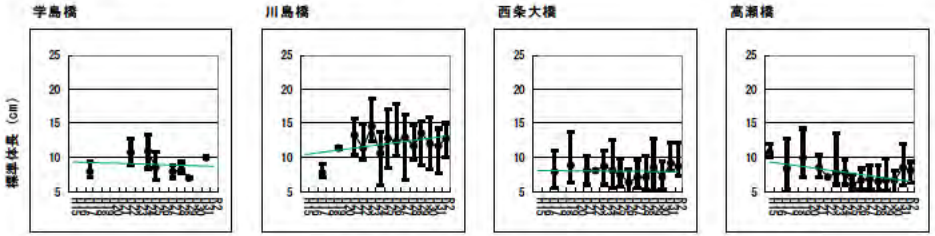


図 2.6.2.7 採捕されたアユの体長

表 2.6.2.7 採捕されたアユの体重

	年度	調査地点			
		学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
体重（g）	H15	－	－	－	18.2(14.4～21.6)
	H16	－	－	－	－
	H17	7.3(5.4～12.4)	7.2(5.2～11.5)	7.0(2.0～18.2)	10.1(1.4～29.4)
	H18	－	－	－	－
	H19	－	19.8(18.8～20.8)	10.1(2.9～30.9)	14.0(4.0～43.3)
	H20	－	－	－	－
	H21	－	35.2(14.6～58.0)	7.5(3.0～15.0)	7.8(4.0～16.0)
	H22	14.5(6.0～23.0)	18.6(7.0～43.0)	4.0	3.0
	H23	－	43.4(28.0～63.0)	7.5(3.0～14.0)	5.2(2.0～27.0)
	H24	15.8(6.0～27.0)	16.7(3.0～31.0)	6.8(2.0～27.0)	6.2(2.0～10.0)
	H25	9.0(4.0～16.0)	26.6(5.1～57.0)	5.1(2.0～10.0)	3.3(2.0～6.0)
	H26	－	24.3(14.0～64.0)	2.7(1.0～6.0)	3.9(1.0～8.0)
	H27	6.5(4.0～9.0)	30.7(4.0～59.0)	4.9(2.0～11.0)	4.2(2.0～8.0)
	H28	7.2(6.0～9.0)	24.5(12.0～49.0)	4.9(2.0～14.0)	3.1(1.0～8.0)
	H29	4.0(4.0～4.0)	36.4(8.0～52.0)	8.7(2.0～28.0)	2.2(1.0～6.0)
	H30	－	23.3(6.0～55.0)	4.1(1.0～10.0)	3.0(1.0～6.0)
	H31	13.0(12.0～14.0)	24.3(6.0～42.0)	8.9(5.0～23.0)	8.5(3.0～20.0)
	R2	－	29.4(12.0～43.0)	8.6(5.0～24.0)	6.1(3.0～9.0)

注：「－」は調査なし　もしくは、採捕数が無い。

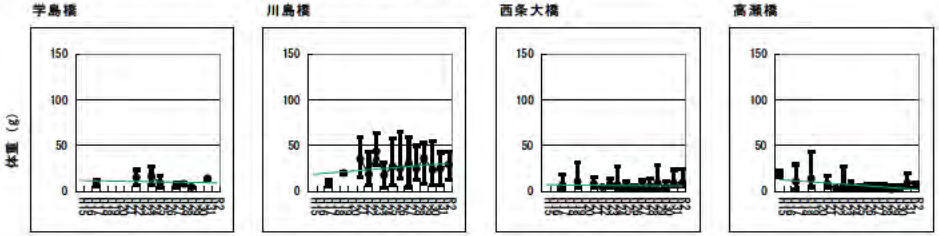


図 2.6.2.8 採捕されたアユの体重

表 2.6.2.8 採捕されたアユの肥満度

	年度	調査地点			
		学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
肥満度	H15	－	－	－	14.4(11.2～16.4)
	H16	－	－	－	－
	H17	14.3(12.2～16.8)	14.9(13.1～17.5)	13.3(11.1～15.4)	13.3(11.0～16.5)
	H18	－	－	－	－
	H19	－	13.5(13.4～13.7)	12.3(10.5～14.2)	12.9(8.6～16.0)
	H20	－	－	－	－
	H21	－	14.9(7.6～18.7)	13.6(10.3～16.6)	11.1(8.4～13.8)
	H22	9.9(8.8～11.0)	12.4(6.6～17.5)	7.5	8.4
	H23	－	13.9(9.5～16.7)	10.9(6.2～13.2)	10.1(6.1～14.6)
	H24	11.6(9.8～13.5)	13.5(9.7～17.0)	12.1(7.7～19.5)	12.3(8.8～14.0)
	H25	13.3(13.1～13.7)	12.4(10.7～14.2)	11.4(6.1～16.2)	14.2(8.4～19.1)
	H26	－	12.5(8.7～16.7)	10.6(6.1～16.0)	13.0(6.4～18.5)
	H27	12.4(11.7～13.2)	13.6(8.7～16.9)	13.1(9.6～16.8)	12.8(9.7～17.4)
	H28	12.6(9.9～14.2)	14.7(12.6～21.0)	12.2(8.4～17.1)	11.1(4.0～19.5)
	H29	11.7(11.7～11.7)	14.3(10.2～17.8)	12.4(6.4～18.0)	6.5(3.5～14.6)
	H30	－	12.9(9.9～17.4)	11.4(5.7～19.1)	10.2(5.7～17.1)
	H31	13.0(12.7～13.2)	14.1(10.7～16.6)	11.2(9.1～13.6)	13.0(10.3～16.6)
	R2	－	13.7(12.0～16.0)	12.0(9.1～14.8)	11.6(8.1～16.8)

注：「－」は調査なし　もしくは、採捕数が無い

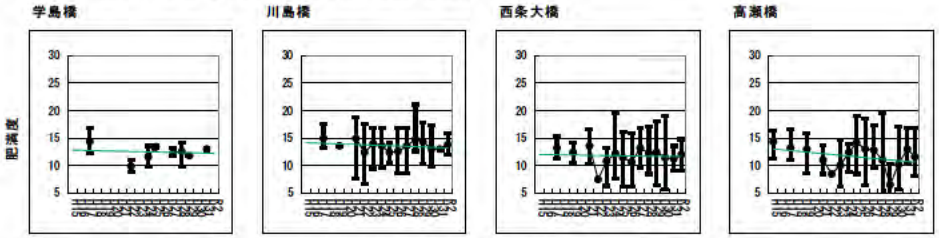


図 2.6.2.9 採捕されたアユの肥満度

②夏季調査

夏季調査において採捕されたアユの尾数をみると、川島橋地点以外、低調であった。その川島橋でも例年に比べ少なかった。潜水調査では魚影を見ることもできず、刺網設置時も魚影が見えなかったので、33尾を確認できただけでも予想外であった。

採捕されたアユの体長・体重の・肥満度も低調であった。これは、調査日の前週に増水があり、アユの餌となる藻類が少なかったことに影響さいれているものと、推察される。

表 2.6.2.9 採捕されたアユの尾数

	年度	調査地点			
		学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
採捕尾数	H15	—	—	2	10
	H16	15	30	33	14
	H17	13	8	38	35
	H18	1	6	16	4
	H19	0	30	15	17
	H20	1	20	8	2
	H21	1	21	6	7
	H22	0	90	4	16
	H23	0	7	8	10
	H24	0	28	12	62
	H25	2	61	25	100
	H26	1	>109	28	74
	H27	21	>103	24	89
	H28	0	73	71	85
	H29	7	>105	45	124
	H30	0	12	87	96
	H31	0	5	33	2
	R2	1	33	1	8

注：「－」は調査なし

表 2.6.2.10 採捕されたアユの体長

	年度	調査地点			
		学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
体長(cm)	H15	—	—	18.6(18.5～18.6)	14.7(10.3～20.6)
	H16	15.5(13.3～17.3)	12.5(10.0～15.0)	13.4(9.0～17.4)	16.9(13.1～19.0)
	H17	13.5(11.7～16.2)	14.6(13.6～15.7)	13.3(11.3～16.3)	10.1(7.3～15.2)
	H18	14.0	17.7(16.2～19.3)	11.4(9.9～12.4)	9.4(6.8～11.8)
	H19	—	14.5(11.8～19.4)	12.1(6.8～20.4)	10.7(7.8～16.1)
	H20	9.0	16.5(14.5～20.5)	9.8(7.9～13.2))	11.5(10.9～12.0)
	H21	14.0	18.8(16.5～20.0)	9.3(6.9～16.0)	17.4(14.5～19.0)
	H22	—	15.1(7.5～18.3)	9.8(6.6～15.3)	12.2(9.2～15.2)
	H23	—	16.8(14.6～18.0)	10.2(8.4～15.6)	12.8(6.9～17.6)
	H24	—	13.8(7.7～18.5)	8.9(6.5～12.6)	11.6(8.1～17.6)
	H25	11.6(11.2～12.0)	15.5(6.0～20.8)	8.5(6.0～11.2)	10.5(6.5～12.7)
	H26	11.4	15.6(8.7～20.0)	8.2(6.4～12.8)	10.2(7.1～13.8)
	H27	11.5(6.2～16.4)	15.8(7.2～19.3)	7.2(5.8～12.0)	7.3(5.0～14.9)
	H28	-	14.2(11.4～18.8)	8.3(4.9～11.5)	7.8(5.2～11.4)
	H29	11.6(7.9～15.7)	15.0(9.1～17.5)	8.1(5.2～11.0)	7.8(5.1～11.4)
	H30	—	13.8(7.9～16.3)	7.2(5.6～12.7)	6.9(5.5～8.5)
	H31	—	17.0(16.0～18.9)	12.0(9.3～15.2)	9.3(9.2～9.3)
	R2	10.1(10.1～10.1)	15.9(13.1～20.0)	8.5(8.5～8.5)	8.9(8.3～9.7)

注：「－」は調査なし　もしくは、採捕数が無い。

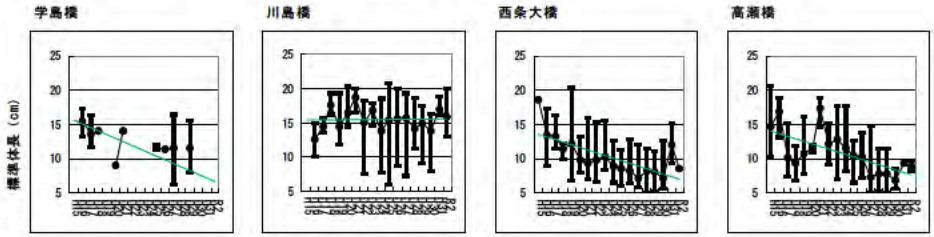


図 2.6.2.10 採捕されたアユの体長

表 2.6.2.11 採捕されたアユの体重

	年度	調査地点			
		学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
体重（g）	H15	—	—	73.4(66.4～80.4)	47.6(12.5～118.4)
	H16	55.6(28.5～67.2)	28.8(12.3～53.5)	34.6(8.9～74.1)	74.0(36.3～107.8)
	H17	40.5(22.0～73.8)	44.6(34.2～56.0)	37.5(20.4～66.6)	16.0(4.4～53.3)
	H18	35.4	81.3(60.4～99.9)	20.9(14.4～25.4)	14.4(5.2～24.4)
	H19	—	48.5(25.2～101.0)	29.6(3.7～104.9)	19.8(7.1～54.7)
	H20	7.2	59.8(40.9～117.6)	12.5(5.6～30.2)	19.7(15.3～24.1)
	H21	42.0	92.5(64.0～116.0)	11.3(4.0～35.0)	62.4(36.0～77.0)
	H22	—	46.9(8.0～81.0)	15.8(3.0～40.0)	23.2(8.0～40.0)
	H23	—	64.1(44.0～80.0)	15.4(7.0～46.0)	38.0(5.0～80.0)
	H24	—	43.7(8.0～92.0)	9.6(3.0～23.0)	21.2(6.0～68.0)
	H25	22.0(19.0～25.0)	51.0(4.0～117.0)	8.2(2.0～18.0)	15.2(3.0～25.0)
	H26	18.0	54.1(6.0～106.0)	6.9(3.0～21.0)	13.6(3.0～32.0)
	H27	21.1(2.0～49.0)	51.9(4.0～93.0)	4.0(2.0～15.0)	4.3(2.0～35.0)
	H28	-	45.6(23.0～104.0)	8.3(3.0～22.0)	6.3(2.0～20.0)
	H29	19.4(5.0～46.0)	52.8(7.0～86.0)	6.9(1.0～17.0)	6.5(1.0～22.0)
	H30	—	38.0(6.0～55.0)	4.7(2.0～21.0)	3.8(2.0～7.0)
	H31	—	62.6(52.0～75.0)	23.8(5.0～46.0)	9.0(9.0～9.0)
	R2	13.0(13.0～13.0)	47.8(31.0～94.0)	6.0(6.0～6.0)	8.3(7.0～12.0)

注：「－」は調査なし　もしくは、採捕数が無い。

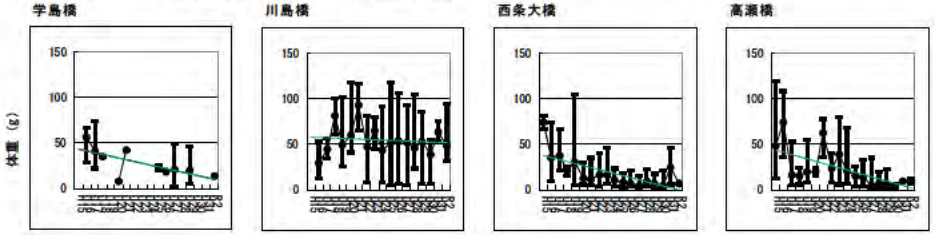


図 2.6.2.11 採捕されたアユの体重

表 2.6.2.12 採捕されたアユの肥満度

	年度	調査地点			
		学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
肥満度	H15	—	—	11.5(10.5～12.5)	12.6(11.4～13.9)
	H16	14.7(10.4～16.5)	14.1(11.4～16.5)	13.3(10.2～16.2)	15.0(11.1～16.1)
	H17	15.7(13.7～18.1)	14.3(13.0～15.7)	15.5(12.5～18.6)	13.5(11.2～17.3)
	H18	12.9	14.7(13.9～15.4)	14.2(11.7～18.8)	15.1(13.0～16.5)
	H19	—	16.2(11.4～59.9)	13.3(10.4～26.8)	14.4(12.9～16.4)
	H20	9.9	13.2(11.4～15.4)	12.0(9.4～14.1)	12.9(11.8～13.9)
	H21	15.3	13.8(12.1～14.9)	11.9(8.5～15.2)	11.6(10.3～12.2)
	H22	—	13.3(11.1～19.0)	12.0(10.4～14.6)	12.3(10.3～17.8)
	H23	—	13.4(12.1～14.1)	12.9(11.8～14.6)	14.5(11.9～16.5)
	H24	—	15.2(12.1～20.0)	12.4(10.3～14.6)	12.4(11.0～14.7)
	H25	14.0(13.5～14.5)	12.2(10.0～17.1)	12.0(6.4～14.6)	12.7(9.4～16.5)
	H26	12.1	13.7(9.1～17.1)	11.6(8.7～14.7)	12.0(7.1～23.3)
	H27	9.4(4.4～12.6)	12.6(9.5～14.8)	10.0(5.7～15.2)	9.8(6.3～17.6)
	H28	-	15.3(12.7～17.7)	13.8(9.1～25.5)	12.0(4.6～21.6)
	H29	12.2(10.1～13.8)	15.3(5.4～21.1)	12.0(7.1～18.3)	11.9(4.2～16.2)
	H30	—	13.6(11.9～16.7)	12.2(8.5～17.6)	11.1(7.6～13.9)
	H31	—	12.8(11.1～14.8)	12.9(6.2～18.3)	11.4(11.2～11.6)
	R2	12.6(12.6～12.6)	11.8(9.1～13.9)	9.8(9.8～9.8)	11.5(10.2～13.1)

注：「－」は調査なし　もしくは、採捕数が無い。

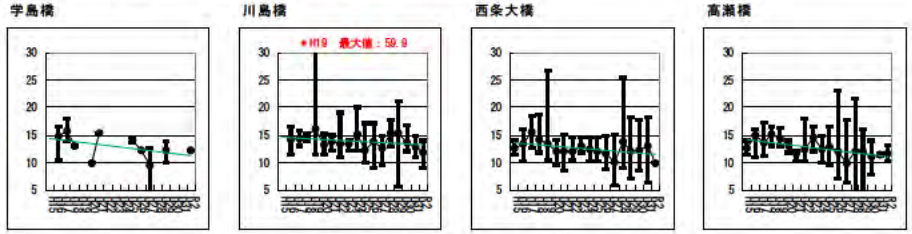


図 2.6.2.12 採捕されたアユの肥満度

③秋季調査

本年度の秋季調査では、前年度に採捕した川島橋と高瀬橋のみ確認している。高瀬橋での調査は、前年度まで午前中に実施していたが、本年度は午後に行ったことから、採捕数が多くなった。秋季調査時のアユは、過年度と変わり、場所と時間により、生息場所に偏りがあるものと考えられる。

採捕されたアユの体長、体重、肥満度は、ばらつきがあり、小さな(軽い)個体もいれば、大きな(重い)個体も確認できた。

表 2.6.2.13 採捕されたアユの尾数

	年度	調査地点			
		学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
採捕尾数	H15	－	－	－	>30
	H16	0	14	13	33
	H17	4	－	－	35
	H18	34	2	19	3
	H19	0	61	6	30
	H20	0	15	4	11
	H21	2	36	16	85
	H22	25	149	14	183
	H23	1	38	357	1
	H24	1	98	>102	>100
	H25	132	129	46	65
	H26	0	26	90	2
	H27	9	>102	118	>140
	H28	105	105	132	132
	H29	22	8	65	0
	H30	0	91	18	2
	H31	0	45	0	4
	R2	0	51	0	101

注：「－」は調査なし

表 2.6.2.14 採捕されたアユの体長

	年度	調査地点			
		学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
体長(cm)	H15	－	－	－	19.1(16.5～23.6)
	H16	－	18.2(16.7～19.6)	15.2(13.5～17.5)	16.5(14.1～19.6)
	H17	14.5(13.3～15.5)	－	－	14.4(9.8～19.0)
	H18	15.9(10.4～20.8)	19.0(18.2～19.8)	12.2(9.9～15.3)	12.6(9.3～16.2)
	H19	－	17.6(13.2～23.8)	13.8(11.1～16.0)	14.0(9.8～17.3)
	H20	－	19.1(16.5～21.4)	10.8(9.5～12.3)	14.2(12.6～16.0)
	H21	17.5(13.5～21.5)	19.5(17.1～22.9)	12.7(10.3～20.5)	16.7(11.2～23.6)
	H22	16.9(12.0～21.0)	18.8(12.0～22.5)	12.7(9.1～16.7)	14.8(10.0～22.3)
	H23	17.9	18.0(14.9～20.6)	15.3(10.0～21.5)	13.1
	H24	16.6	17.8(13.7～22.0)	17.7(14.2～21.0)	13.9(10.7～21.0)
	H25	14.8(10.0～18.5)	16.1(11.7～21.6)	15.6(10.9～21.2)	15.2(9.2～19.8)
	H26	－	18.4(15.6～24.0)	15.7(10.4～25.8)	13.2(13.0～13.4)
	H27	15.5(14.3～16.7)	18.3(12.0～23.8)	15.9(8.3～23.5)	10.4(7.6～17.5)
	H28	18.9(14.6～22.9)	18.8(15.3～23.9)	14.7(7.4～23.0)	13.3(8.1～17.9)
	H29	14.2(11.2～18.0)	17.4(14.3～21.2)	16.1(8.7～22.5)	－
	H30	－	17.1(13.4～22.6)	12.4(10.0～15.7)	15.9(14.5～17.3)
	H31	－	20.9(11.5～26.1)	－	18.8(14.8～17.9)
	R2	－	19.9(16.6～22.6)	－	18.4(13.3～23.1)

注：「－」は調査なし　もしくは、採捕数が無い。

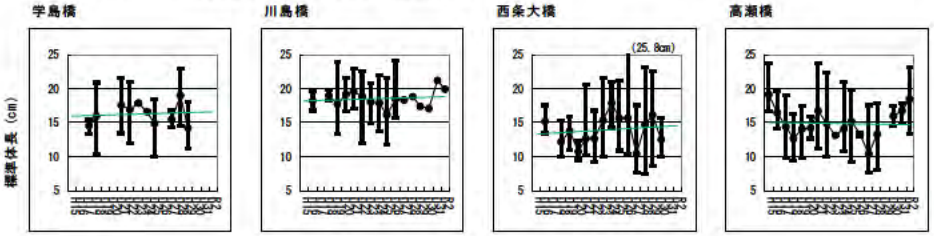


図 2.6.2.13 採捕されたアユの体長

表 2.6.2.15 採捕されたアユの体重

	年度	調査地点			
		学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
体重(g)	H15	－	－	－	102.0(62.9～171.0)
	H16	－	88.7(68.9～114.6)	41.0(27.2～62.7)	61.0(38.4～108.2)
	H17	30.3(20.5～40.6)	－	－	44.5(11.1～88.6)
	H18	56.4(17.3～131.5)	95.3(91.2～99.3)	26.0(17.0～42.1)	31.7(8.7～57.5)
	H19	－	88.1(29.0～212.0)	37.0(20.0～53.0)	35.8(13.0～64.0)
	H20	－	105.5(69.4～144.0)	21.7(14.6～26.5)	39.0(22.9～55.6)
	H21	78.5(42.0～115.0)	102.3(71.0～156.0)	32.6(14.0～101.0)	57.4(19.0～148.0)
	H22	64.1(32.0～116.0)	85.0(38.0～144.0)	28.3(11.0～58.0)	39.7(12.0～128.0)
	H23	59.0	67.9(39.0～102.0)	40.0(11.0～90.0)	17.0
	H24	51.0	69.6(31.0～113.0)	66.6(30.0～116.0)	33.9(14.0～106.0)
	H25	41.3(13.0～75.0)	54.3(17.0～108.0)	44.3(15.0～101.0)	37.8(10.0～75.0)
	H26	－	71.8(42.0～156.0)	41.7(11.0～115.0)	24.0
	H27	44.9(30.0～73.0)	87.3(20.0～206.0)	61.7(5.0～178.0)	15.3(4.0～74.0)
	H28	77.4(22.0～130.0)	86.3(42.0～195.0)	40.4(2.0～132.0)	23.5(6.0～64.0)
	H29	34.3(15.0～54.0)	55.9(30.0～93.0)	40.1(6.0～94.0)	－
	H30	－	64.9(34.0～145.0)	25.6(14.0～46.0)	49.5(41.0～58.0)
	H31	－	127.3(67.0～251.0)	－	55.8(35.0～65.0)
	R2	－	104.9(59.0～165.0)	－	81.0(31.0～224.0)

注：「－」は調査なし　もしくは、採捕数が無い。

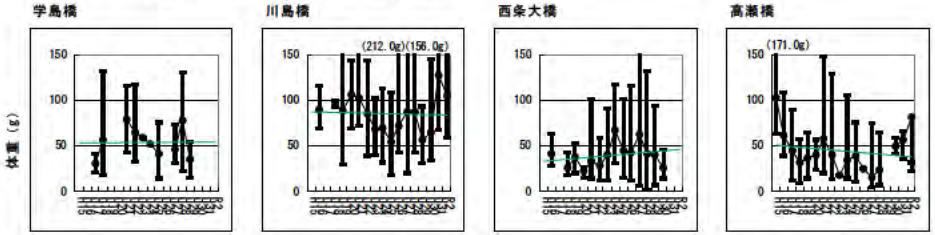


図 2.6.2.14 採捕されたアユの体重

表 2.6.2.16 採捕されたアユの肥満度

	年度	調査地点			
		学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
肥満度	H15	－	－	－	14.5(11.5～23.6)
	H16	－	14.7(12.4～16.9)	11.4(9.1～14.7)	13.6(10.9～16.8)
	H17	9.8(8.7～10.9)	－	－	13.8(11.8～17.3)
	H18	13.4(10.7～17.2)	14.0(12.8～15.1)	14.2(10.7～21.7)	13.4(10.8～15.9)
	H19	－	14.6(11.6～19.6)	13.8(12.9～14.6)	12.7(10.0～15.2)
	H20	－	15.1(13.3～17.4)	17.6(12.9～23.6)	13.2(11.4～14.1)
	H21	14.3(11.6～17.1)	13.5(10.3～15.7)	14.9(11.3～23.5)	11.6(8.5～15.4)
	H22	12.5(10.7～14.9)	12.4(8.9～16.3)	12.4(10.5～14.6)	11.7(7.0～22.5)
	H23	10.3	11.4(8.4～14.0)	10.9(7.6～16.8)	7.6
	H24	11.1	12.2(7.6～15.8)	11.7(9.1～18.0)	11.6(9.3～15.1)
	H25	12.3(6.7～16.3)	12.5(8.8～16.4)	11.0(8.2～13.6)	9.8(6.6～13.7)
	H26	－	11.3(9.1～13.3)	10.2(6.2～17.2)	10.4(10.0～10.9)
	H27	11.9(9.9～15.7)	13.7(9.2～17.9)	13.2(6.6～24.0)	13.1(7.2～19.0)
	H28	11.3(5.5～19.8)	12.7(9.1～17.1)	11.1(1.3～16.0)	11.6(8.9～15.0)
	H29	11.8(9.0～16.1)	10.2(9.2～11.6)	8.9(6.9～13.8)	－
	H30	－	12.8(8.9～16.8)	13.0(9.8～18.0)	12.3(11.2～13.4)
	H31	－	14.6(9.8～17.1)	－	11.5(10.8～12.0)
	R2	－	13.2(11.1～16.7)	－	12.6(8.9～24.6)

注：「－」は調査なし　もしくは、採捕数が無い。

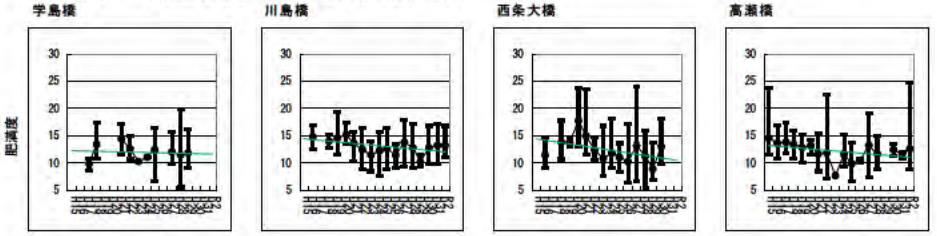


図 2.6.2.15 採捕されたアユの肥満度

3)付着藻類

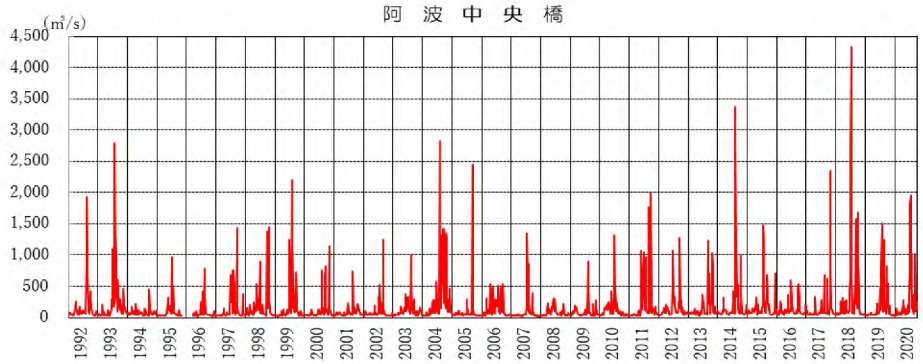
・令和２年度の傾向

本年度調査(夏季調査終了時点)では4綱13目22科107種確認し、うち、春季に3綱12目19科86種、夏季に4綱10目18科71種を確認した。

アユの餌として有用といわれている藍藻類の *Homoeothrix janthina* は、春季調査で学島橋地点平瀬を除いて第１優占種、夏季調査で学島橋地点平瀬と西条大橋地点淵を除いて第１優占種であった。

有機物量を示す強熱減量については、夏季の全地点で比較的低かった。

・調査日の流況



・調査日及び調査地点（令和２年度）

調査地点		春季	夏季	秋季
吉野川	学島橋	6月17日	8月5日	10月28日
	川島橋	6月16日	8月4日	10月27日
	西条大橋	6月17日	8月5日	10月28日
	高瀬橋	6月18日	8月6日	10月29日

写真１ *Homoeothrix janthina*（2.5μm=1目盛り）

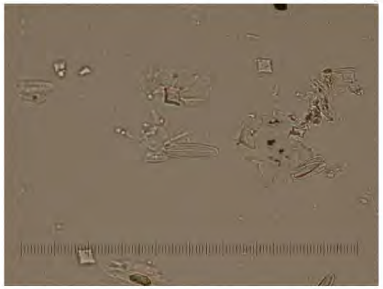


写真２ *Achnanthes convergens*（1μm=1目盛り）

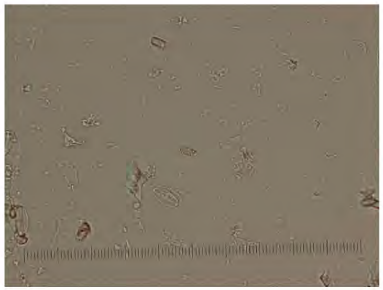


写真３ *Nitzschia inconspicua*（1μm=1目盛り）

写真４ *Cloniophora plumosa*（2.5μm=1目盛り）

写真５ アユのハミ跡

・**調査結果**

①学島橋

瀬

合計細胞数をみると、調査季毎では春季が約61万cells/cm²、夏季が約25万cells/cm²、秋季が約91万cells/cm²となっており、例年と比べ少ない。

細胞数構成率をみると、春季では藍藻類、夏季では珪藻類、秋季が僅かながら藍藻類が優占している。なお、優占種はアユの餌となる藍藻類の*Homoeothrix janthina*は、春季が2番目、夏季が3番目、秋季が1番であった。

強熱減量の割合は、春季が80%と高かったが、夏季が18%、秋季が22%と極端に低い数値であり、餌となる有機物が夏季に減少していた。

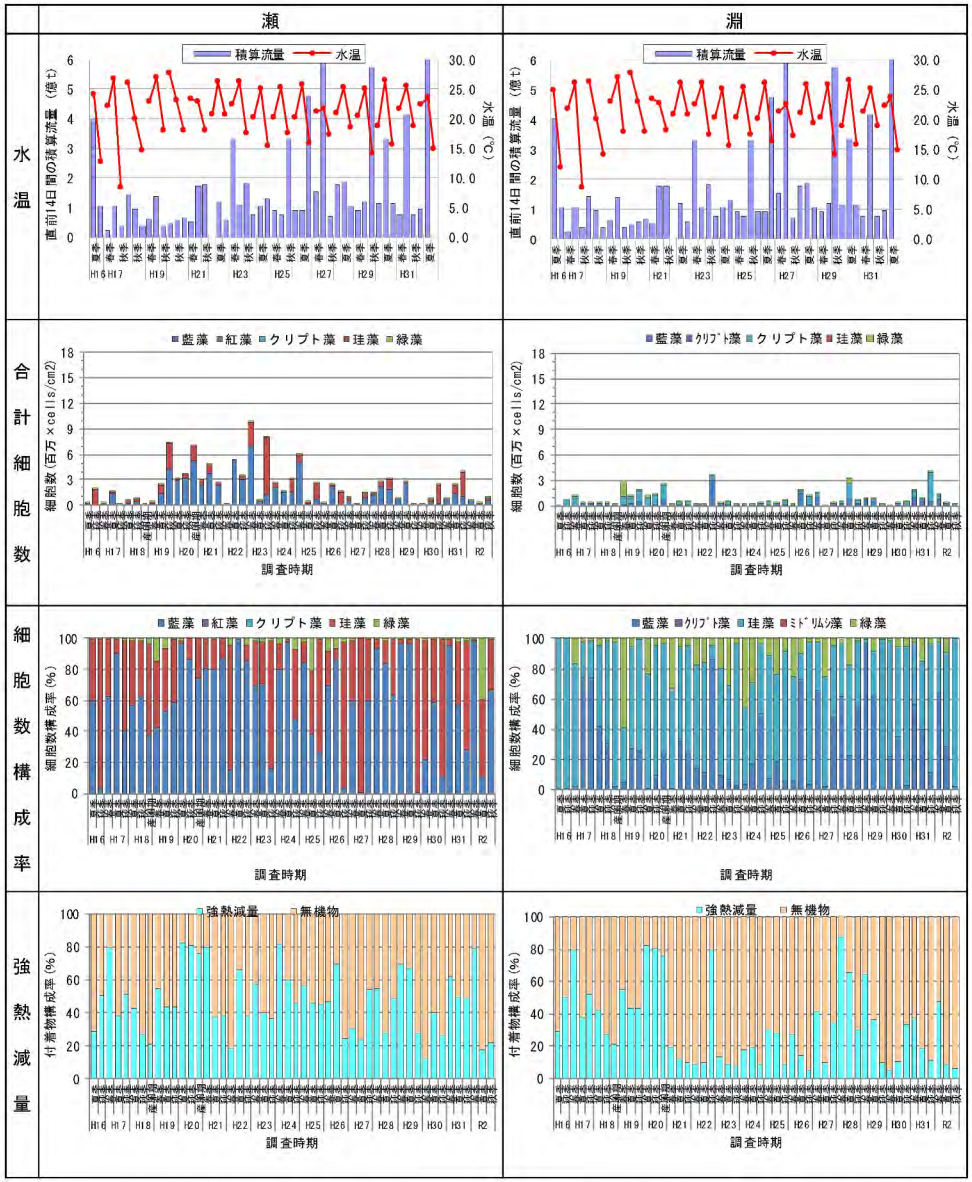
淵

合計細胞数をみると、調査季毎では春季が約130万cells/cm²、夏季が約25万cells/cm²、秋季が約22万cells/cm²となっており、例年と比べ低い数値となっている。

細胞数構成率をみると、春季では藍藻類が多く、夏季と秋季では珪藻類が優占している。

強熱減量の割合をみると、春季が47%と例年より若干高めであったが、夏季は9%と極端に低い、秋季が6%とさらに低い。

付着藻類の量・質から考えると、学島橋では付着藻類の細胞数が例年に比べ少なく、また強熱減量の計測結果から夏季では無機物が大半を占めると想定され、アユの餌場として優れているとは言えない状況であった。



*直前14日間の積算流量は算出の際、欠測の場合前後の測定結果により補完する。

図 2.6.3.2 学島橋における付着藻類の経年変化

②川島橋

瀬（早瀬）

合計細胞数をみると、調査季毎では春季が107万cells/cm^2、夏季が132万cells/cm^2、秋季が278万cells/cm^{2}と調査期間中の平均値より少ない。

但し、細胞数構成率をみると春季と夏季では藍藻類が9割を占めているものの、秋季では珪藻類が62%を占めている。優占種も春季と夏季はアユの餌となる藍藻類の*Homoeothrix janthina*であったが、秋季は珪藻類が優先種であった。

強熱減量の割合も春季65%、夏季44%、秋季34%と春季がほぼ平均値、夏季と秋季が平均より若干低かった。

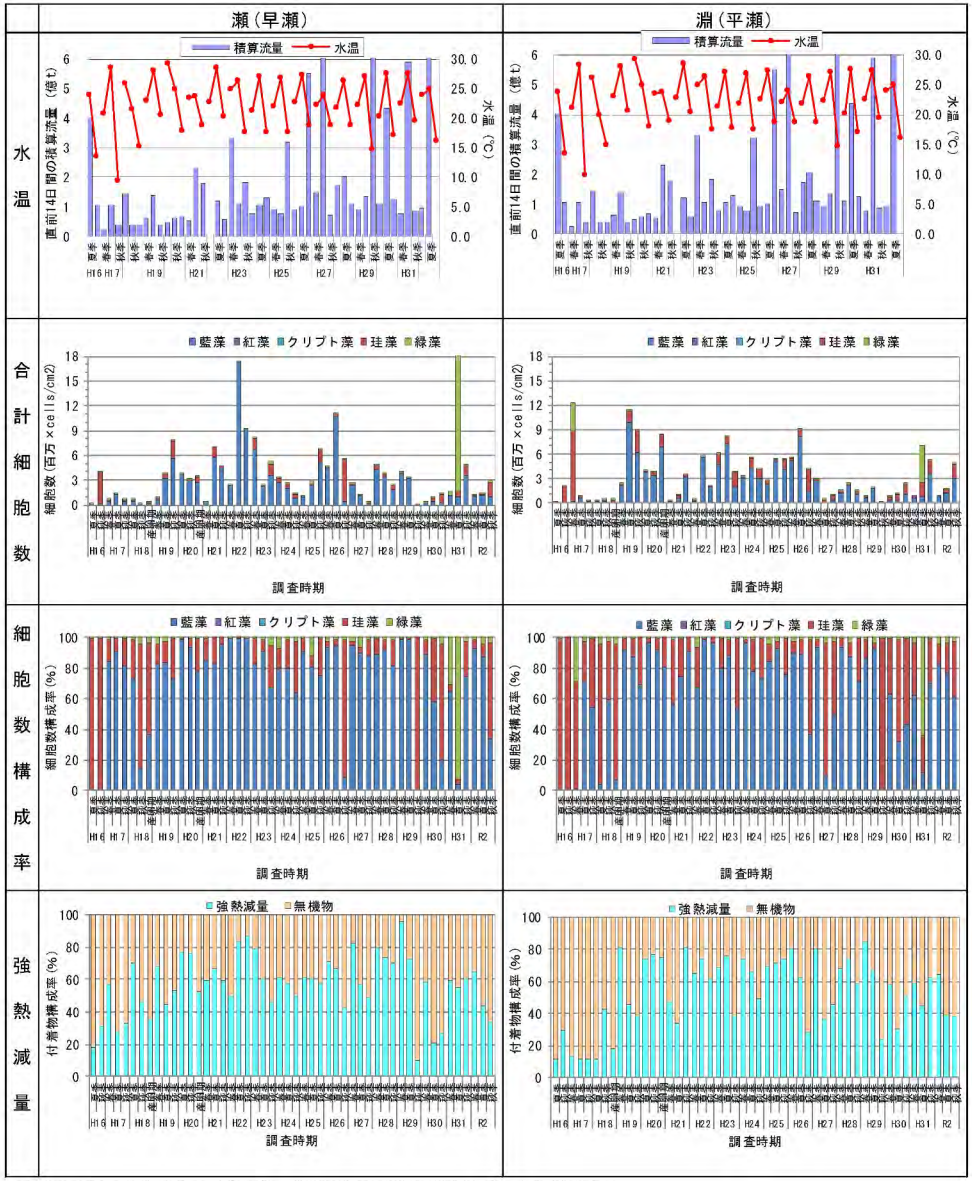
淵（平瀬）

合計細胞数をみると、調査季毎では、春季が79万cells/cm^2、夏季が171万cells/cm^2、秋季が480万cells/cm^{2}と、調査期間中の平均値と比較すると春季が1/4程度、夏季が1/2程度と低かったが、秋季平均値の1.5倍であった。

細胞数構成率をみると、藍藻類の構成比が春季83%、秋季77%、秋季が61%と占めており、春季～秋季の優占種は、藍藻類の*Homoeothrix janthina*であった。

強熱減量の割合をみると、春季に58%、夏季に39%、秋季に38%と、春季がほぼ平均値、夏季と秋季は平均より若干低かった。

付着藻類の量的には低かったが、質的には*Homoeothrix janthina*が優占しており、アユの餌場として若干適している環境であった。



*直前14日間の積算流量は算出の際、欠測の場合前後の測定結果により補完する。

図 2.6.3.3 川島橋における付着藻類の経年変化

③西条大橋

瀬

合計細胞数をみると、調査季毎では、春季148万cells/cm^2、夏季22万cells/cm^2、秋季265万cells/cm^{2}と、各季の平均値と比べると春季が40%程度、夏季が5%と極端に少ないが、秋季では7割減程度に復元した。

細胞数構成率をみると、藍藻類が春季に8割、夏季に6割を占めており、優占種は各季においてアユの餌となる藍藻類の*Homoeothrix janthina*であったが、秋季では珪藻類が6割を占めている。

強熱減量の割合をみると、春季70%と高い数値であったが、夏季20%、秋季14%と極端に少ない。

今年度の西条大橋では、付着藻類の量・質とも春季は良好であったが、夏～秋季は壊滅的に落ち込んだ。

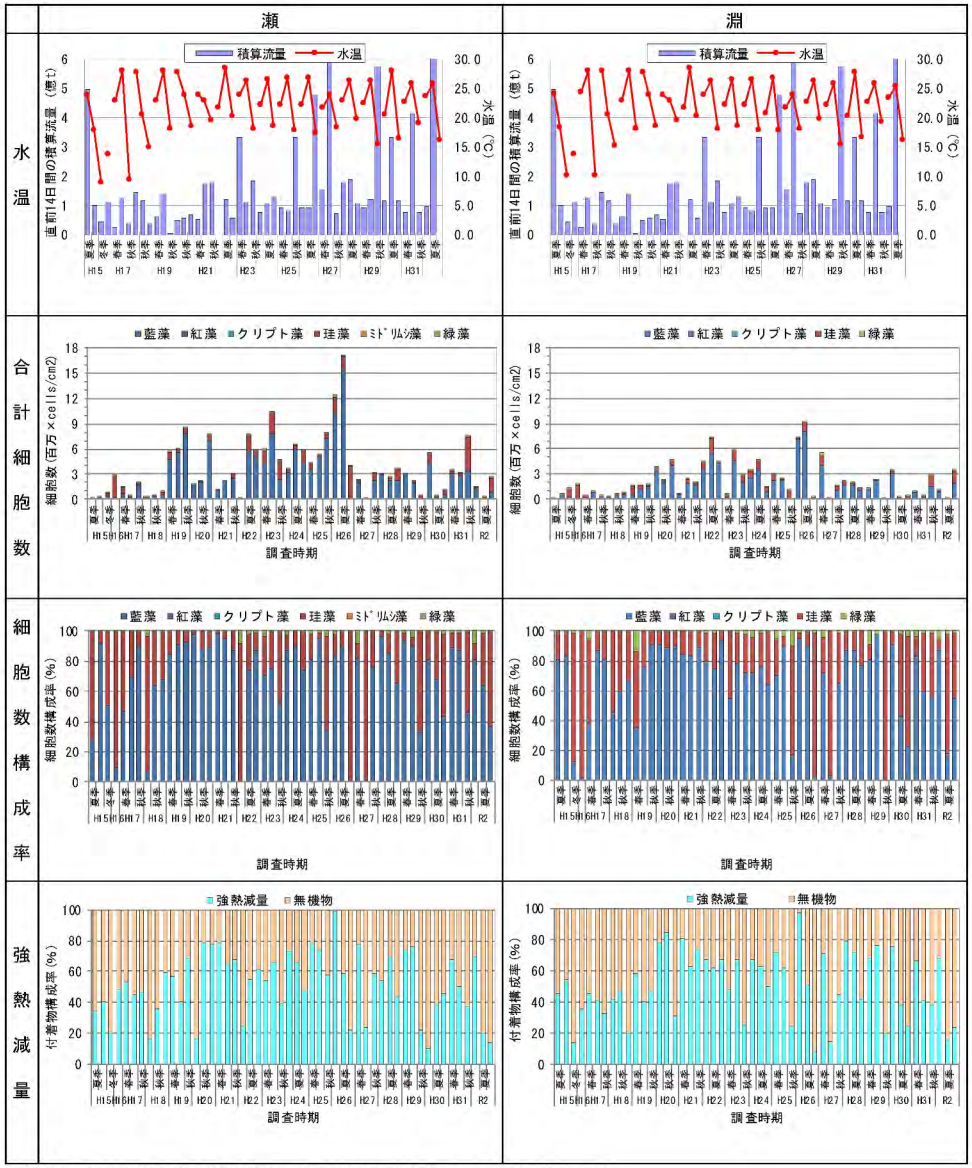
淵

合計細胞数をみると、調査季毎では、春季107万cells/cm^2、夏季4万cells/cm^2、秋季341万cells/cm^{2}であり、各季の平均値が春季で1/2以下、夏季で2%と極端に少ないが、秋季は平均値の2倍程度となった。

細胞数構成率をみると、藍藻類が春季では90%を占めていたが、夏季は珪藻類が80%を占めたが、秋季は藍藻類と珪藻類がほぼ同程度割合であった。優占種は春季がアユの餌となる藍藻類の*Homoeothrix janthina*であったが、夏季は珪藻類であった。秋季は、*Homoeothrix janthina*が優占となった。

強熱減量の割合をみると、春季68%であったが、夏季15%、秋季が24%と低い。

付着藻類の量・質から考えると、春季は比較的良好なアユの餌場であったが、夏季は壊滅的な状況であったが、秋季が回復の兆しが見られた。



*直前14日間の積算流量は算出の際、欠測の場合前後の測定結果により補完する。

図 2.6.3.4 西条大橋における付着藻類の経年変化

④高瀬橋

瀬

合計細胞数をみると、調査季毎では、春季が410万cells/cm^2、夏季が132万cells/cm^2、秋季が310万cells/cm^{2}であり、全調査期間中の平均値より春季と秋季が多く、夏季が6割程度であった。他の調査地点に比べ、夏季の落ち込みが少ない。

細胞数構成率をみると、藍藻類が9割を占め、第1優占種もアユの餌となる藍藻類の*Homoeothrix janthina*であった。

強熱減量の割合をみると、春季が82%、夏季が44%、秋季が52%と他の調査地点と比べ、良好である。

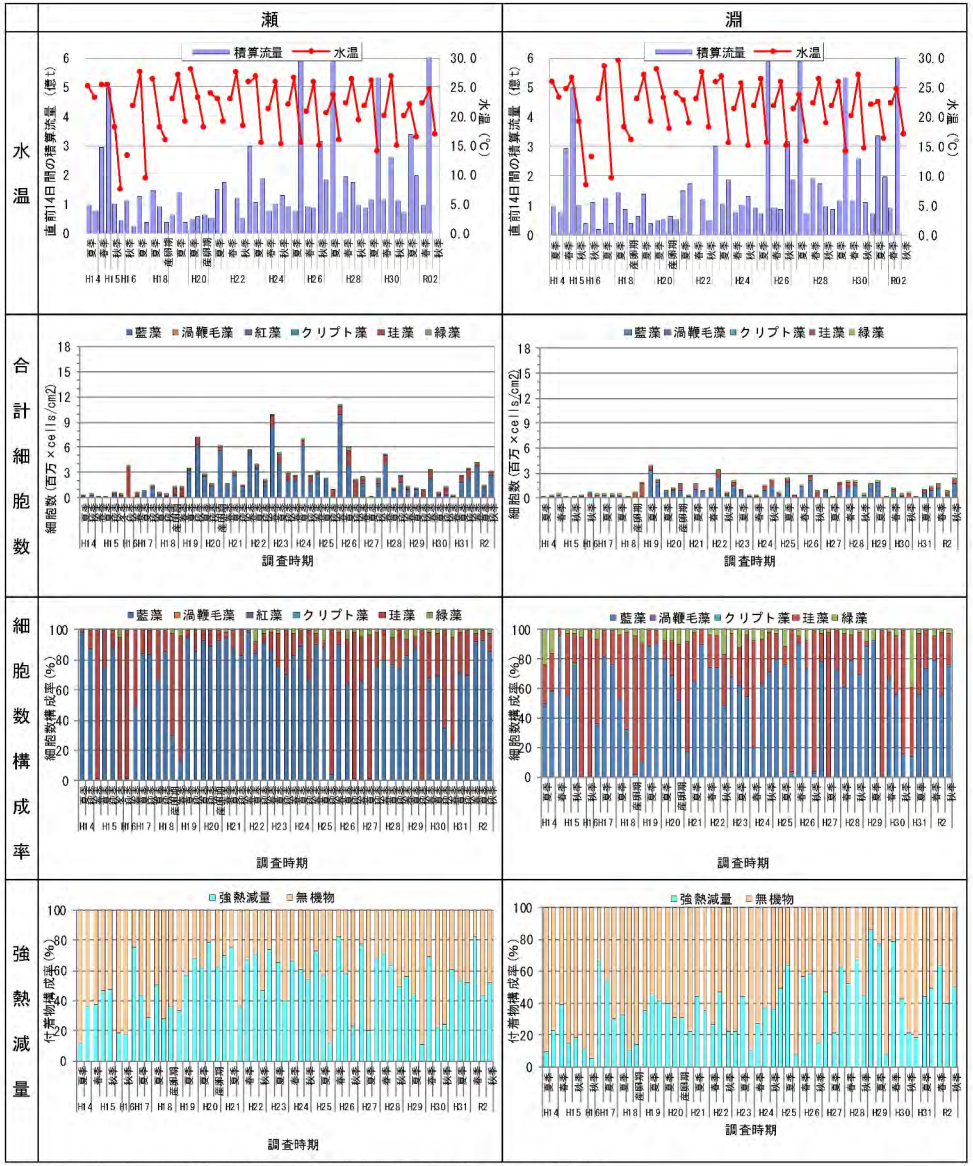
淵

合計細胞数をみると、調査季毎では、春季が156万cells/cm^2、夏季が82万cells/cm^2、秋季が233万cells/cm^{2}であり、全調査期間中の平均値より春季と秋季が多く、夏季が6割程度であった。他の調査地点に比べ、夏季の落ち込みが少ない。

細胞数構成率をみると、藍藻類の占める割合は春季が79%と高く、夏季が56%、秋季が76%と優占種になっている。第1優占種もアユの餌となる藍藻類の*Homoeothrix janthina*であった。

強熱減量の割合をみると、春季63%と秋季51%と高く、夏季も40%と他の調査地点に比べ、良好である。

付着藻類の量・質から考えると、今年度の結果では、高瀬橋の瀬と淵は、他の調査地点と比べ、アユの餌場としては優れていると推察される。



*直前14日間の積算流量は算出の際、欠測の場合前後の測定結果により補完する。

図2.6.3.5 高瀬橋における付着藻類の経年変化